

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一宮市チューリップ教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の困りごと、進路や子育てについての悩みなど一緒に考えている。	・懇談だけでなく、自由遊びのときにもはなせるように、話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。	・相談しやすいように、保護者との関係づくりをしていく ・職員全員で考え対応していく。
2	・子どもの成長を保護者と共有できる。	・子どもの発達がよく分かるように、一斉の活動だけでなく、1対1で毎回『個別課題』に取り組んでいる。 ・3か月ごとに個別支援計画の振り返りをし、子どもの発達を保護者と共有している。	・発達に関して、研修や本などで学習し、職員間で共有していく。 ・職員会議等で一人一人のお子さんについて話し合っていく。
3	・子どもにとって分かりやすい活動や空間になっている。	・使わないものは片づけるなど環境を整え、子どもが集中できるようにしている。 ・視覚支援として、タイムタイマーで残り時間がわかるようにしたり、絵カードや見本を見せて分かりやすくしたりしている。	・研修等で学習したことや他園の良いところを取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・パニックになったときにクールダウンできる部屋がない。	・施設が狭いため個室は作れない。	・玄関横のスペースを活用し、カーテン等で仕切りを作り、落ち着けるスペースを確保できるように検討する。
2	・保護者同士の交流や父母の会の活動が開催できていない。	・父母の会活動は、働いている保護者が増え、祖父母や叔母(伯母)など毎回違うこともあるので開催がむずかしい。	・父母の会活動は難しいが、安全に支援できる職員配置を考え、保護者同士の交流ができるよう検討する。
3	・保育園や幼稚園との交流がない。	・歩いて行ける範囲に保育園や幼稚園がないことと、半数以上が幼稚園や保育園に通いながらチューリップ教室に通っている。	・幼稚園や保育園に通っている方以外は、保育園の園庭開放や幼稚園のプレ保育などの利用を案内する。 ・近隣の児童発達支援センターで、親子交流の場に参加させてもらうなど検討したい。